

## 「ポトマック桜百周年記念能日本公演」(2012. 4. 6) 感想文 Comments on the Noh Performance: “Cherry Blossoms by the Potomac”

今回も大勢の方から貴重なご感想ご意見をいただき誠に有難うございました。会員はじめ多くの方々にお読みいただきたく、掲載をお断りしてない方もありますが、お許し下さるようお願いいたします。(上田邦義)

昨日は『能・ポトマック桜』の御公演に参加させて頂きありがとうございました。頂いた台本を読んだときから、なんて素晴らしい台本なのかと感動致しました。舞台もとても素晴らしく、衣装、間奏のお囃子等普段のお能とは少し違う趣も素敵でした。そして最後の、リンカンが尾崎氏の肩に手を置くシーンがとても印象的でした。言葉の一つ一つに本当に平和になるための、人間の生き方や、命の大事さがこめられていて、心から感動致しました。また、リラ自然音楽研究所にチラシを貼りましたところ、7、8名の方がお申し込み下さったようです。ほとんどの方が、お能は初めての方で、最初の先生の解説と、台本が配られたのがとても良かったとおっしゃっていました。お能もすごく綺麗で、台本と合わせて見たので、とても分かりやすかった、という感想を頂きました。本当にありがとうございました。

青木 加実 (リラ自然音楽舞踊家)

とても有意義な一夕でした。ご公演の感想の一端を。①着想の妙、時宜にかなった、融合文化を体現した、みごとな企画でした。②尾崎の肩にリンカンの霊が手を掛けて共に舞う様子に感銘を受けました。③桜の精の華麗な舞いにみとれました。④アメリカ民謡“サマータイム”の笛にニヤリとしました。⑤絵巻物に作成中です。

麻生 哲郎 (詩人・画家)

桜花繚乱の日、人民のための大政治家、尾崎先生の能の公演、大勢の外国のお客様により御盛会おめでとうございました。アメリカとの大戦を思い、平和な今日乍ら感銘して帰宅しました。さて、かねがねより腹案してました新作能「ひめゆりの少女達」は、8月5日午後1時半より、四谷、紀尾井ホールにて公演発表予定です。

足立 禮子 (観世流能楽師)

「ポトマック桜」は、「ハムレット」英語能、「リア王」に続く先生の三大遺業となりました。「朝日新聞」が大きく報道したこともあって、客席は超満員、キーン氏の姿はありませんでしたが、外国大使が多数ご覧になって、国際色豊かな桜の祭典となりました。残念だったのは、先生の前説、プロローグで、お声も英語も客席に届かず、聞こえない!という声まで飛び交いました。「ハムレット」の初演以来、先生のシェイクスピア能を見守ってきた到達点が、リンカン能、と見ました。先生は、ライフワークとしてのシェイクスピア能と、足立さんのコーデイ

ーリア、津村氏をシテにしたリンカンを創造なさり、その上幾多の後継者を育成なさいましたが、先生には、まだまだ「国際融合文化学会」会長として指導力を発揮していただくべきとの考えに至りました。彼等と共に先生が育成なさっている理想的な国際学会を、発展させ、広めてゆく将来像が見えてきました。

荒井 良雄（駒沢大学名誉教授）

昨日は、「ポトマック桜」を拝見し、良いお花見をさせて頂きました。以下、私の勝手な心覚えのような感想を送信させて頂きます。能舞台は、自然が生きる場所ですから桜がたいへん調和していたように思います。白洲の場所に置かれていた桜もとても美しく全体をつつんでいました。また、直面での演能の登場人物は近代劇の「役」を演じるのにも近いものがありますので、難しい点もありますが、尾崎行雄さんの伊藤嘉章さんがとても好演されていたと思います。中入りのときのお囃子も一噌さんが特に素晴らしい演奏を聞かせてくださり、久しぶり音楽として堪能しました。ちょうど桜がさいて時期も良かったですね。

伊藤 真紀（明治大学、在N. Y.）

先生の宿望の「ポトマック桜」初演、まことにあめでとうございました。観賞できましたこと、あらためて光栄に存じます。時期が時期としてさまざまな思いが去来いたしました。あの日から、桜が目に入る度に、“桜の精”の衣装と舞を思い起します。2日、観賞の事前研修のつもりで、久しぶりに憲政記念館を訪れ、尾崎行雄翁の事蹟にふれてきました。また岡田茂吉氏が翁について論じている論文（添付）も眼にすることが出来ました。今回、素人眼の、ことのほか大鼓の印象が強く、小鼓、笛と力強い調和を感じました。妻もそれを感じたらしく、いたく話題にしていました。先生にはどうぞお元気にて、やがて到来する現地でも公演に赴かれませうこと、お祈りしております。（添付）「私が若い頃の政治家である。・・・そういう人達は自己の利益など顧みず、国家本意によって断乎として正義を貫いたもので、自然社会の尊敬も大きかったのである。当時毎日新聞社長島田三郎氏、足尾の鉍毒問題で有名な田中正造氏、万年議員の尾崎行雄氏などもその組であった。この種の人には数は少ないが、議会内の空気を清浄にした功績は、今でも忘れられないのである。」（『栄光』252号、1954.3.17）

梅内 康行（MOAインターナショナル）

昨晩はご盛会に「ポトマック桜能」をお済ませになり心よりお慶び申し上げます。大勢の皆様が、先生のお作りになったお能を楽しまれ素晴らしい桜の宵を過ごされたことでしょうか。終演後の皆様の表情からも十分に伝わってまいりました。先生の強い信念のもとに、難しい題材を桜の花の持つ幽玄さでくるみながら観客に強く訴えるものがありました。オープニングの先生のお話もとてもわかりやすく、リラックスして臨むことが出来たのではないのでしょうか。お笛の幸弘さんも持ち前のセンスを十二分に生かし「間語」を挟むよりもずっと作品の良さを生かした様に感じます。耳になじんだ旋律もあり後の場面をゆったりとした気分で待つことが出来て、ずっとよろしいですね。正之助さんがいらしたらもっと華やかに盛り上げた事と少々残

念ではありました。当梅若研能会の面々は（手前味噌になりますが）清々しい舞台を演じてくれていました。別の場面で見ると彼らの真摯な姿勢が良く伝わります。これからも熟慮を重ねられ素晴らしいお舞台を完成させてくださいませ。いつの日かポトマックの桜の前で繰り広げられるお舞台の様子が夢のように浮かんでまいります。先生の長年のご研究が実を結び、多くの方々に「能」の持つ普遍的な表現に理解が深まることを願ってやみません。

**梅若 聖子（梅若研能会）**

後場の桜の精、リンカンの霊は面/衣装/踊/ いずれもインパクトあり見事。前場の遭遇の場面を含め、現世の人の尾崎行雄の立居振舞はもっと強く面を工夫するなどしても良いのではないかな。

**大海渡 憲夫（国際交流基金）**

まだ能を観に行くことが2回目にして、このすばらしい説明つきを観に行くことが出来感激でした。現実を忘れ、ただボツとできるこの空間、とっても幸せでした。またきっと次も観に行くつもりです。

**大氣 正江（元JAL国際線スチュワーデス）**

当日は、尾崎行雄のひ孫に当る大塚万紗子さん等3名で伺いました。私は初めて能を観劇させて頂きましたが、一步一步、一挙手一挙手がしっかりとしていて、素晴らしいなと思いました。大塚さんは、杖の持ち方が尾崎行雄に似ていて、「そっくりだそっくりだ」としきりに言っていましたし、また、笛や大鼓の音色、力強さにも感動され、「こういった芸術をもっと見に行かねば」と帰途そういう話ばかりして帰りました。彼女は原不二子さんとは4-5歳ほどしか変わらないそうです。もちろん、お二人は互いに知ってしまして、公演のあと少し話しをされていましたし、私も大塚さんから少し紹介して頂きました。17年程前、ある国際的な学会のお手伝いを多忙か何かの理由で原さんはお断りされ、代わりに大塚さんを紹介され、その学会に私が学生ボランティアで関わったことから、その後20年近くのおつきあいが始まったという次第です。数年前、まだご存命の相馬雪佳さんが何かを記念されて尾崎行雄記念会館（？）でパーティーがあった際に、丁度帰国中だったこともあり大塚さんに誘われて出席し、私も相馬雪佳さんにお会いしたこともあります。今回も、ちょうど帰国中にこうしたイベントに参加することが出来て大変うれしく思いました。当日は、上田様にもご挨拶をと思ったのですが、既に各国の外交官の方とご歓談されておりましたので、そのまま失礼させて頂きました。現在の憂国の状況の中、尾崎行雄のような意志の持ち主が現われて欲しいと切に願わずにはいられません。

**大平 健二（在アフリカ）**

調和=harmony がこの能のテーマであった。調和とは能の舞いと謡いの調和。演者と観客の調和。来世の魂と現世の人との調和。米国と日本の調和。そして全世界の調和、宇宙の調和とつながっていく。当日、観客は完全に演者達の能の世界に引き込まれ会場は一体となっていた。リンカンの霊と尾崎行雄が二人で舞う姿は、時代と国を超えて同じ志を持った者達の喜

びを感じる。そしてリンカーンと尾崎の霊は言う。「殺すな。戦こうな」最後に地謡は謡う。「うれしや今宵は。桜樹の奇特。心開けし。花の友人。汝が国人も。わが国人も。世の人すべて。心一つと。祈る心の桜花」。『不戦』という固く重苦しい言葉が、能という形を借りてすっと心に落ちくる。そして尾崎は言う。「人生の本舞台は常に未来にあり。」これは東日本大震災により被害を受けた方々に向けた言葉であり、また日本国内だけでなく全世界に向けて発せられた言葉だと思われる。資本主義は行き詰まり、世界のいたるところで歪を見せ始めている。そろそろ次の段階（調和の時代）に移る時期が来ていることを『鎮魂能 ポトマック桜』は私達に訴えかけている。

大山 敦彦（静岡県函南町、会社員）

昨日は、マチネーでさいたま芸術劇場の「シンベリーン」を観、その足で梅若能学院会館にまわりましたが、「ポトマック桜」たいへん感銘深く観させていただきました。朝、台本をいただいたことに気がついて、急いで拝見した際、「殺すな。戦こうな。殺すな。戦こうな」は、平和あるいは反戦の思いが直接的すぎるのではないかと感じたのですが、実際の舞台でリン・尾崎がゆっくりと荘重に謡うのを聴くと、全体の流れを損なわずに落ち着いていて、謡の力を再認識しました。折から日本は桜の季節、舞台周囲の白州にも舞台上の鏡板の前にも桜木が配され、桜の精が美しい姿で登場し、舞い、その桜の精の現在する時空で、待ち受ける尾崎の前にリンカーンの霊が現れる趣向もよかったですね。全体の構想がすばらしいと存じました。アメリカでも上演されるとよいですね。2012年4月8日 岡本 靖正（英文学者、東京学芸大学元学長）

このたびは、能の日本公演の開催に際し、わたくしども外務省職員をご招待くださりまして、誠に有り難うございました。先に島田よりご連絡申し上げましたとおり、私、小野日子（おのひかりこ）が、当日、他の外務省職員と共に、「尾崎行雄とエイブラハム・リンカーンの夢」を鑑賞させていただきました。素晴らしいご公演を最前列で拝見する機会を頂き、心より感謝申し上げます。東日本大震災という未曾有の震災後1年を経て、改めて命の大切さと世界の方々の「絆」とに思いを致す今日、「ポトマック桜」を通じ、桜で結ばれた日米の絆と平和の尊さを改めて強く感じ、深い感動を覚えました。また、開演に先立ち、上田先生より、先生の恩師のお話も含め、今般のお能に託されたメッセージ等をお伺いする機会を頂く、という貴重な経験に恵まれましたことも大変有り難く、感謝申し上げます。各国の大使館からも多くの方々をご参加されておられましたが、皆様楽しんで鑑賞されておられるご様子でした。私自身、慌ただしく仕事に追われる日常を忘れ、ゆったりとした気持ちでお能を楽しむことができまして、大変思い出深い一夜となりました。ここに改めてこの度のご招待を心より感謝申し上げますとともに、上田先生の益々のご活躍を祈念致しております。

小野 日子（外務省広報文化交流部総合計画課長）

過日の「ポトマック桜」は盛会でしたね。華麗な衣装の桜の精の舞はまことに優美で、強く印象に残りました。原作から上演までご苦労が多かったことと拝察しますが、今年はポトマッ

ク河畔の桜百周年記念とのこと、アメリカでも上演の機会があると良いですね。昨日は五月晴れの好天でしたが、なかなか天気が定まりません。ご自愛のうえますますのご活躍をお祈りします。

門井 昭夫 (元小学館編集長)

能、すばらしかったです。先生の着物姿はとても素敵でした。 金井 紀代子 (東京都)

ポトマック桜 素晴らしかったです。見たいお能を見ることができました。いい席で生涯忘れられない舞台です。ありがとうございます。脇正面2列目中央で拝聴いたしました。新作能について世阿弥は『花伝』「三道」において「作能(つくりのう)とて、さらに本説なき事を新作にして、名所・旧跡の縁に作りなして、一座見風の曲感をなす事あり。是は、極めたる達人の才学の能なり。」(有名な原作もない新作能が、名所の縁からはじめて、その場の観客一同の耳目を感動させることがある。これは達人の技である。)と述べている。『能 ポトマック桜』はポトマック河畔の縁からはじめて、一座見風の曲感をなした、とせねばならない。当日の聴衆は国際性豊かであったため、「一座見風の曲感」もまた格別なものであった。「自由」「平和」といった言葉が違和感なく曲感をなしていた。シェイクスピア学者の上田(宗片)邦義ならではのこの作能はルネサンス的であったと規定したい。ここで「ルネサンス」は野上豊一郎の「能の再生」に近い意味で使っている。野上はギリシア悲劇作劇史に起こったエウリピデスの改革を能に求めていたが、上田の作能は世阿弥『花伝』にあくまでも忠実である。忠実であるがゆえに、シテ リンカンの霊に津村禮次郎、シテツレ 桜の精に河井美紀、ワキ(シテツレに近い)尾崎行雄に伊藤嘉章、地頭 加藤眞悟、笛 一噌幸弘、大鼓 大倉正之助(当日代理 上野義雄)、小鼓 古賀裕己の陣容を得て高い水準の上演となっていた。左右の手をひろげるようにして足を引く、それだけでシテ津村の身体から光が放たれたようであった。しかもエイブラハム・リンカンらしかった。桜の精も天女舞を舞いはじめると大きかった。リンカンを圧する輝きがあった。「温室に咲いた梅と、寒気にさらされた梅とでは、一見しただけでも味がちがうことは何誰もご承知の事実です。芸の味は・・・」と明治の能役者近藤乾三は述べているが、今回の公演において、桜は確かにポトマック河畔の桜の風情であった。

川田 基生 (新作能研究者、名古屋大学講師)

昨夜は、2週間近く続く感冒と花粉症のために、やむなくお能を拝見できず、申し訳ございませんでした。古田さんからお話ををうかがい、またプログラムその他を拝見して、先生のお能に込めたメッセージを読み取ることができました。外国の方々も大勢ご覧になって喜ばれた由、何よりに存じます。私は、ワシントンDCに滞在中、リンカーンが観劇中に暗殺された劇場を見に行きましたが、「あの席に座っていて襲われたのだ」と説明された時、大変なショックを受けました。また、1971年に初めて渡米した時には、ゲティスバーグを訪れましたが、戦場が思っていたほど大きくないと感じたのを覚えています。桜を媒介とした日米交流の深い

意義を、桜の持つ美意識を通して見事に表現されたことに感服いたしております。折角のお能を拝見できなかったのを残念に思いますが、今後の一層のご活躍と、ご健勝を念じております。

**川地 美子 (元杏林大学教授)**

まずは公演のご成功をお喜び申し上げます。終演後、受付に聞こえてきた声は、いずれも感激の余韻に弾んでいました。とても素晴らしい舞台だったことと、お喜び申し上げます。これも、上田先生や木下さんの大変なご苦勞のたまものと存じます。本当におめでとうございます。また、本当にお疲れさまでした。こちらの業務を振り返ると、当日席希望者への対応に課題が残りました。当日席の割り当て可能数が全く不明だったため、当日券待ちのお客さまに、開演ぎりぎりまでチケットの提供ができませんでした。今後は、初めから10席くらいをきちんと確保しておくか、あるいは、開場時間を早め、「予約者であっても、当日払いの予定者で、開演20分前に連絡なく来場されていない場合は、予約を取り消して当日券待ちの方に割り当てます」などとあらかじめ案内をして、当日券待ちのお客さまをむやみに待たせない工夫をすべきと思いました。今回のご成功が、今後海外での上演に向けた助成を得る一助となりますことを祈ります。

**菊地 善太 (ISHCC事務局長)**

今までになく印象に残る能公演でした。台本の原作者の上田先生（レクチャーも含めて）、それを演ずる演者達、そして観客が一体になっていた感じがしました。それぞれ立場は違っても平和、反戦にたいする思いはみな同じです。桜に囲まれた華やかな舞台と、今回の難しいテーマをうまく調和させ、能でこれだけ見事に具現化されたのに感激でした。あの能楽堂に響き渡る音楽、地謡が、何か我々をリンカンと尾崎の靈魂の世界に引き込んでいってくれる様でした。私の友達も内容が分かりやすく、十分に楽しめたと言っていました。確かに、観た後の満足感がしっかりと今でも残っています。再演出来るのであればそう願いたい気持ちです。もっともっと多くの人達に、この新しい感覚で創造性高い新作能を観てもらいたいし、分かってもらいたいからです。これを書きながら、舞台の色々な場面、演者のひとつひとつの振る舞いを思い返すと、やはり、もう一度観たいという念願が高まって来ます。ここにこぎ着けるまでご苦勞された皆様に、大拍手をお贈りします。ありがとうございました。

**木下 恵美子 (元カンヌ大学講師、フランス語通訳講師)**

たいへんな盛況で大成功だったと思います。受付や接待など係りの皆さんお疲れでしょう。台本やあらすじを見て鑑賞したので分かりやすく、しかも筋が通っていて、訴える内容があったということで、良かったなと思いました。上田さんは着物がよく似合いますね。外国人からみたら、やはり日本人は着物がいいんですね。

**木下 裕一 (多摩市)**

感ずるものもあり、全体としては理解でき、舞台はとてもよかったですのですが、こちらの不勉強のため、部分的に難しかった。率直な感想です。

**小出 芙美子 (焼津市)**

夕べ八時ごろ帰ってまいりました。上田さんの創作現代能をこの目で鑑賞できなかったことは誠に残念でした。米国公演、再演の実現心からを念願しております。私どもは郷里が遠いので、冠婚葬祭の時以外に親戚知人友人に会う機会はないので、久しぶりにいろいろな人々と会ってきました。四十歳代以降の年代の人々は郷里の方言はもう使えない状況ですが、七十歳代の連中が島の方言で話しているのを聞いて、歓喜を覚えました。マイノリテーの言語が消滅してゆくことは世界的な現象ですので、今島に残っている言語を聞くと、誠にうれしいものです。島の言語の保存の為に、何かすべきだと思いついています。ところで上田さんの現代能の米国および国内での再公演心から願っています。桜寄贈百周年記念事業として誠にふさわしい歴史的事業です。次期公演のニュース待っています。 郡山 直（英語詩人・東洋大学名誉教授）

ご公演のご成功をこころよりお慶び申し上げます。

今野 秀洋（三菱商事取締役）

先日の「ポトマック桜」は、とても面白く拝見しました。先生のお話もとても良かったです。桜の返礼として米国から贈られたハナミズキが今を盛りとその美しい姿を見せていますが、街路のハナミズキを見ながら、改めて先日の舞台の余韻を楽しんでいます。

齋藤 祐一（能楽研究者）

桜は日本人の心の象徴。リンカン「人はすべて神の御霊を分けもつと。・・・人を殺すな」「人に霊性呼び覚ませや」「世の人すべて心一つと」この語りの中に、戦争のない平和をつくる本質が述べられており、伝統芸の能の中に新しい光を見ることができました。日本人がまず覚めることが必要なことを教えて頂きました。あらためて進化した創作能を観覧させていただき有難うございました。

坂口 英典（川崎市）

すばらしかった 特に最後の「地」のところ 「党派を争い 目指すところに 神の御心ありや」と まさに民衆の心 願い ここのところの迫力はすばらしかった そして「人を殺すな 戦こうな」とくる この後のやすらぎ それが最後の「舞」に あらわれている この「舞」は ことばをこえる まさに芸術による解脱か 桜の花に象徴されて 世界中の人に見てもらいたい能 とくにアメリカの政治家に （追伸）「能・ポトマック桜」 ありがとうございます 上田さんは 完全な芸術家ですよ それを今度の能が 証明してくれました 島田謹二先生の 「やまんば」についての講義思い出しつつ 芸術による解脱とはこういうのだ

と思いながら 不思議な気持ち なにか安らぎといたらいいのか そんな気持ちに満たされながら 久しぶりに新幹線で帰ってきました 世界のだれもやらなかった 民主主義の原点 生命（いのち）の尊さを 能という美の世界で 表現してくれました ただただ感謝のみです ありがとうございます アメリカでの上演 祈りつつ 佐藤 健治（英詩翻訳家、伊東市）

「ポトマック桜」公演大成功、おめでとうございます。ほとんど舞台は拝見できませんでし

たが、華やかで、劇的で、優雅で、素晴らしいという声が聞こえました。河井美紀に初舞台の機会を与えて頂き感謝します。

**杉澤 陽子（観世流能楽師）**

やはり何と言っても津村禮次郎さんの柔らかい舞は私のこころを捉えました。初めて見たのが、大倉正之助様がモナコでなさった現代能でした。その時に津村先生を知り合いました。3歳から10年近く日本舞踊を習っていましたので、能舞は非常に興味のあるところ。大倉様とは10年以上のお付き合いで、ドイツでいくつかのプロジェクトを企画し、一緒にお仕事をさせて戴きました。現在日本にいる母の認知が進んでいるので、日本文化事業のサポートは暫くお休みです。テキストを前もって戴きましたので、外国人のお客様にもわかりやすかったと思います。主人と日本で能公演へ時々でかけますが、理解するのが難しいことがままあります。ワシントンでこの公演が実現すると素晴らしいですね。上田先生の更なる活躍をお祈りしております。

**Staguhn 由美子**

この度の「ポトマック桜百周年記念能日本公演」まことにおめでとうございます。小生現在東日本の災害地の医療・介護のお手伝いに毎週（月一金）出張しております。医療にたいする回復はまだまだですので、当日出席できず、まことに残念です。

**瀬在 幸安（日本大学元総長、医学博士）**

ポトマック桜百周年記念能公演の成功おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。アメリカ大使館の高官も大勢お見えになられたようで、先生の初期の目的を達成できたのではと思います。今後の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

**平良 廣一（MOAインターナショナル）**

「ポトマック桜」上演の大成功を承り心からお慶び申し上げます。それにつけても当方、観劇を心待ちにしておりましたが、体調不良のため上京できず、残念でもあり申し訳ないことと悔やんでおりました。急遽、友人のイエーツやアイルランド研究をやっている早稲田の方にチケットを回したところ、大喜びいただき当日の様相を知らせていただき、ほっといたしております。（妹までが風邪をこじらせ休んでいて失礼してしまいましたが）。六日に満開だった京の桜も今日は散りはじめました。千鳥が淵の桜も花嵐となってお堀に流れ落ちていることでしょう。ヴァーガンデイのロゼシャンパンをお祝いにお送りしました。

**多田 稔（大谷大学名誉教授、京都府）**

昨日のポトマック桜、貴重なお手伝いの機会に参加させて頂きありがとうございました。私はなかなかこうした体験をすることが少なく、力量の不足したお手伝いでしたが、それでもお力になれたのであれば幸いです。皆さまの手際の良さにはただただ頭が下がるばかりですが、今後も何かお手伝いできることがあれば、是非ともよろしく願いいたします。非常に盛況な

公演で素晴らしかったですね。リンカーンと能、文化の違いがあっても結びつくのですね。今後ともよろしく願いいたします。

田中 希（栃木県、京都造形大学生）

新作能・ポトマック桜の公演のご成功おめでとうございます。正面の間近の席で楽しく鑑賞させていただきました。3月末に新聞紙上でポトマック桜の記事を拝見しましたが、今回の公演に対する高い評価を知りうれしく思っております。また、このような立派な企画の助成に関与できましたことに感謝しております。上田様の開演のご挨拶の中で、思いがけず R.H. Blyth 先生のお話をうかがい、俳句を嗜むものとしてうれしく思いました。EU の初代大統領のファンロンパイ氏が俳句の愛好家とのとこ。能や俳句が海外にどんどん広まってほしいと思っています。

中村 忠男（社団法人東京倶楽部総支配人）

カイのご成功をお喜び申し上げます。

中原 秀人（三菱商事副社長）

素晴らしいご公演でした。おめでとうございます。マーティンと相談をして、英訳謝礼はいただかないことにいたしました。どうぞ、ご随意にお使いくださいませ。

原 不二子（尾崎行雄記念財団常務理事・英語通訳翻訳家）

4月6日当日に、別件の急用の為、拝観、拝聴ができなくなり、誠に申し訳なく存じます。台本をお送りくださり、有り難うございました。せりふからは、切々たる「和」への希求が感じられました。遅くなりましたが、協賛よろしく願いいたします。

日江井 栄二郎（明星大学元学長）

昨日は母から、公演後すぐに連絡をもらいまして、「とてもよかったよ。大盛況だったよ。今日の公演を拝見してお能が好きになった。」と感動している様子でした。一緒に行ったお友達も拝見できてとても良かったと言っていたそうです。母に改めて感想を聞きましたので、書かせていただきます。「歴史的に偉大な政治家である尾崎行雄氏とその娘さんである雪香さんと、リンカーンの三人の対話に、感銘いたしました。このような政治家が日本に、世界に、現れてリーダーシップをとれば、世界は、戦争はなくなり、理想的な社会になるのではないかと切に感じました。また、お能の美しさと共に、鑑賞した後の余韻が、いつまでも残りました。お能が大好きになりました。なお、相馬雪香さんのお話は、叔母が五十年來故意にさせていただいており、お名前を存じていましたので、親近感を改めて感じました。叔母は、六本木で毛糸店を営んでおり、そこに編み物がお趣味の雪香さんが若い頃から晩年までいらしていたそうです。お店の階段を上るときは、私のいところに甘えるように寄りかかり、孫を見つめるような温かい眼差しを向けてくれていたそうです。九十歳を超えても矍鑠（かくしゃく）とされていたようです。時には、麻生元首相のお母様とお店で偶然ご一緒になられたそうですが、お二人はご親戚の関係になられるとのことで、ご縁の不思議を感じました。このようなお話を伺ってきただ

けに、準主役の雪香さんがお能に登場されていて、とても感慨深く感じました。」とのことでございます。

平井 明余（日本大学修士、国立市）

昨日は、大変な盛況で驚きました。英語能とと思っていましたので、正直（リンカーンのように）、座席に余裕はあるだろうと突然、出かけましたところ、先生にもご迷惑をお掛けしました。幸い、後ろのほうに丸椅子を見つけて最後までゆっくり鑑賞できました。先生のオリエンテーションのお陰で、内容も分かり有意義な春の夕べとなりました。ありがとうございます。内田義雄氏（『戦争の指揮官リンカーン』の著者）には戴いた台本を渡そうと思います。

平田 宏（元NHK勤務）

公演開始まで時間が長かったのでたいくつした。舞台ははなやでよかった。パンフレットが読みにくかった。

松葉 悦子（東京都）

新作能の斬新さもあり、見どころ聴きどころも多くあり、眠気を催すひまもなく一応楽しむことができました。ただ、見慣れた能を頭において見ると、修羅物と鬘物、それに『嵐山』風の脇能の要素が渾然と混ざり合った雰囲気の中に、「反戦、平和」というメッセージが入り混じって、複雑な能にもなっています。この複雑さは、リンカンと桜と尾崎行雄の三者がともに強調されているところにも原因があるようです。もちろん、この能ではシテのリンカンを中心に演出されていますが、メッセージとして、桜と尾崎も強調されているように思われます。最大の問題は、リンカンと桜の結び付け方です。尾崎と桜は自然に結びつきます。しかし、リンカンは民主主義の原理を説き、奴隷解放に尽力した反面、南北戦争を指揮し、アメリカン・インディアンの虐殺を促した人としても知られていて、必ずしも反戦論者でも平和主義者でもありません。桜が反戦と平和のシンボルとすれば、リンカンが桜と直接結びつくかどうかは疑問です。ただ、リンカンのあの世からの懺悔のメッセージととらえれば別ですが。リンカンの事実を知っている人からみれば、リンカンの亡霊が「殺すな、戦こうな」ということに違和感を感じる人もいるかもしれません。むしろ、桜の精をシテにして、ポトマック河の近くにあるリンカン堂の由来を話すついでにリンカンのエピソードを語り、平和を祈念して消えていく――としたほうが効果の統一という点でよいのではないのでしょうか。ただし、以上のような歴史的事実の問題点や、「殺すな、戦こうな」のような、生硬な言葉を、能という様式と部分的な見どころが覆い隠していて、欠点がそれほど気にならなかったのも事実です。部分的な見どころ聴きどころは、前場と後場の間の笛の演奏です。間狂言を登場させない演出の可能性を示唆しています。また、後場のシテの舞も面白いと思いました。ついでに言うならば、前場のツレは華やかさを出す反面、構成上は統一を損ない、必要ないものと思います。いずれにせよ、新作能は何度も修正を加えながら公演を重ねていくうちに良いものになるので、これからの公演を期待しています。

三上 紀史（大東文化大学名誉教授）

先日は、とても素晴らしい公演をありがとうございました。『能 ポトマック桜「尾崎行雄とエイブラハム・リンカンの夢」』は、現代の世界に欠けているものを私たちに教えてくれます。それをとても判りやすく日本の文化を代表する能という形で示して下さいと思います。物語も大変判りやすく日本とアメリカの文化を、舞台設定、衣装などとても洗練された形で表現されていたと思います。能というとても形式にこだわるように思いましたが、前場と後場の笛や大鼓の演奏では、ガーシュインのサマータイムが挿入されたり、ジャズが好きな私にとってはとても意外な展開でした。上田先生のMCもとても素晴らしかったです。多くの皆さんに観て聴いてほしいので、ぜひ再演を希望いたします。 三戸 幹夫 (みと 歯科院長、熱海市)

桜の舞台が嬉しかったです。能公演前の etc が多サービスでした。創作能は初めての体験で良かったです。 ミムラ ケイコ (栃木県小山市)

能評を書くにあたりましていくつかご質問をさせていただいてよろしいでしょうか？①大鼓は大倉さんではなかったのですがどなたでしょうか？(体調不良で、同じ大倉流の上野義雄さんが代役。掲示は数箇所に出しました)。②いらした外国の方達ですが、スペイン、カナダ、フランス、そのほかどちらの国の方でしたでしょうか？(アメリカ、イギリス、カナダ、EU、フランス、アイルランド、ルクセンブルク、ノルウェイ、ポーランド、ポルトガル、スペイン、スウェーデン、トルコ、から大使または代理が見えました。アメリカ大使館からはルース大使ご夫妻は見えられませんでした。特別秘書をはじめ10名ほどの方が出席されました。アメリカは当事国なので、「一国4名(4席)まで」にこだわりませんでした。)③間狂言の間のお囃子のとき、笛方の方が吹かれていたほら貝のような笛はなんというのでしょうか？(牛の角笛です。一噌幸弘さんが創作能に相応しい演奏をまず能管で、さらに得意の技を發揮し、間狂言の代わりの間奏曲(インターラード)を演奏してくれました。それでアイのせりふはプログラムに印刷して配布しました。)④ツレの中入りのときに、しばらく揚幕が閉じたままでしたが、これは演出でされたのでしょうか？(揚幕担当が舞台に引き込まれ、うっかり……。)⑤今回の能にかける思いとメッセージ。(一つは、戦争を避けられなかったリンカンの苦悩、悔しさを描きたかった。オバマ大統領は共鳴してくれよう。アメリカ公演を、出来れば11月の大統領選の前に実現したい。真の民主主義は「人民のため」「戦わず、殺さず」。ほか、プログラムに書いたとおり。)⑥いつごろから用意されていたのでしょうか？(08年に難民を助ける会の相馬雪香さんが亡くなられ、そのお別れ会が永田町の憲政記念館であり、それに参列したときです。足立禮子先生は、雪香さんをご存知で、『NOと言わない生き方』を差し上げてありました。) 宮西 ナオ子 (女流能研究者)

沢山のお客様ご来場で、貴氏のご丹精、努力のほどが忍ばれます。御作はたいへんわかりやすく、主義主張がはっきり前面に出ている点に特徴があると思われました。そのぶん、テーマをまぶす芸術的魅力が少ないのがいがかかとも考えられますが、能に初めて接する方々にはい

いのかかもしれません。後シテの面は石王じょうでしょうか。桜の精を効かせたものと考えられますが、新面？のせいか、メタリックなぬめりがあまり気持ちよくなく、リンカーンが妖怪めいてしまったと感じたのは私だけだったでしょうか。天人のような桜の精はいかにもアマチュアなのは仕方ないとしても、妙にバランスとして重い位置にいるのがつらかった。全体に芸術的ふくらみがあればもっと良くなる作品と拝察いたしました。あくまでも感想まで。

村 尚也 (能評家)

ここまでの道のり、大変だったと思いますが、大勢の方々のご協力あって、上演されることとなり、本当に喜ばしい限りでございます。つくづく能というものの、奥へ奥へと入ってゆき、この道はどこまで続くのか、どこで交わるのか、果てのないものなのでしょう。生きている限り、勉強を続けても、沢山の能を観ても、「能とは〇〇です」と言えないのも面白いと思います。・4月中旬、東慶寺の不来子先生に「能・ポトマック桜」の台本をお見せしに行った時のこと、ありのままに書きました。拙い文章ですが……。よろしく願いいたします。

(エッセイ欄参照)

棟居 禮子 (能楽愛好家)

「能・ポトマック桜」の構想については以前伺ったことがありましたが、完成した台本を拝見し、これはすばらしい鎮魂能・反戦能だといたく感銘を深くしました。この上演で先生の「三年來の思い」が伝えられ、本当によかったですね。尾崎行雄の、又リンカンの、心を心として、いつの日か、戦争というものがない世界が来ますように、祈らずにはられません。今後、全米各地での公演にも、大いに期待がかけられましょう。先生がお元気で活躍されるのが一番心強いです。構想を実現されるその実行力が何よりも尊いです。春爛漫の好時節に「能・ポトマック桜」公演、有り難うございました。

村松 真一 (静岡大学名誉教授)

ご成功をお祝いいたします。何より感心したのは、上田さんのプロデューサー能力で、大盛況でしたね。上田さんのオリジナル新作能は、初めて拝見したように思いますが、筋は明快、詞章は明確。新作能には、第一に重要なことだと思います。さすが、いろいろ試されてきただけのことはあると敬服しました。津村さんの前場の衣装は、借り物ですか、彼のご自分のものですか、それとも新しく仕立てたものですか。新作能の現代性を見事に表していました。ロビーでも申したように、このアイデアはまさに excellent で、また時宜を得ていると思います。舞台上で津村さんが見事に、現代的かつ能の伝統ののっとなってリンカーンを演じておられたのを拝見し、もしかして、これはリンカーンの修羅能を意図されていたのかとも思い、むしろその点をもっと明白にしたら面白くなるのではないかと愚考しました。桜の精は、やむを得ない事情がおありだとは思いますが、素人目にも、優雅とは言えない舞であったこともあり、いささかたってつけたような感があって、桜のイメージは、詞章から想像してもらうのもいいとも思いました。すでに舞台を桜がいっぱい囲んでいるのですから。ともあれ、ますますの精力的なご活躍に感心するとともに、今後にも大いに期待しております。

毛利 三彌（日本演劇学会前会長）

鎮魂能 ポトマック桜（尾崎行雄とエイブラハム・リンカンの夢）、家内ともども大変堪能させて頂きました。又 東京倶楽部中村総支配人もお招きくださり、誠に有難う御座いました。上田先生原作の新作能、又 ご解説、大成功で誠におめでとう御座います。ご公演のあと、原不二子さん夫妻とも食事を一緒にし、素晴らしかったご公演の話をしました。東京倶楽部が少しでもお役に立てたことは会員達の喜びで御座います。上田先生の引き続きのご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

安田 信（社団法人東京倶楽部）

今回が初めての観劇でした。音曲の響きや空間の広がりを経験し、鳥肌がたちました。英語での説明や演目が古典のなかに国際的な広がりや融和されていて、日本の伝統的芸能の奥深さ、強さに感激しました。ありがとうございました。

山口 聖子（横浜市）

六日の鎮魂能、昼間の会議が長引き遂に時間切れとなり、失礼してしまいました。申し訳ありません。大いに期待していたので、、、残念です。次の機会を狙います。

・本日御書簡拝誦し・・・貴兄の暖かな御友情に何と御礼を申し上げてよいか判りません。ますます御健勝で良い舞台を作って下さい。貴重な方ですから・・・心から敬服しております。

山崎 有一郎（能評家、横浜能楽堂館長、99歳）

「能・ポトマック桜」日本公演のご成功おめでとうございます。伝統的な様式美を継承しながらも、日本とアメリカ、時空を超えた世界観に基づく先生のメッセージ、堪能させて頂きました。先生の新作能が広く世界で公演されますことお祈りいたしております。

山田 敦子（日本大学修士）

世の中が烈しく動くとき。きっと急に変わろうとしているのだと感じておりますが、先生の能楽の新たなる展開の道。いよいよお元気で御活躍のこと、祈念いたしております。

山波 言太郎（詩人、リラ自然音楽セラピー創始者）

久し振りに新作能のお舞台を拝見し、たいへん感動いたしました。リンカンと尾崎行雄との掛け合いの詞章には、とても感慨深いものがございました。今後の公演の成功をお祈りします。

山本 勝久（日本大学修士、大阪市）

スピーチもわかりやすく、いろいろ教わること、考えさせられることがあって、とてもよかった。舞台も全体すばらしかった。中でも「戦こうな。殺すな」に一番感動しました。

吉永 洋子（焼津市）

It was my first experience at a Noh play, and I was very impressed. I loved the stage and the setting with all of the gorgeous cherry blossoms - so appropriate on the 100th anniversary. The costumes, especially the mask of Abraham Lincoln, were fantastic. I liked the way the actors were able to dramatize entire sets with very little in the way of props on stage. A simple outline of a white chair was enough to indicate that it was the Lincoln Memorial. I was interested in your messages before the performance talking about the importance of harmony over human rights, and I was interested to see how this was manifested in your play. For an American, it was unusual to consider whether the Civil War could have been avoided. Art is supposed to be thought-provoking, and I certainly found this play to be that. Again, I really appreciate being included and I wish you the best of luck in any future productions!

**Laura Winthrop Abbot (Embassy of America)**

Thank you very much for the dazzling performance of *The Potomac Cherry*. It was a very unusual experience for me! I am sure your proposed tour of the US and other countries will be a great success. I have attached my comments for your reference,

**Mari Boyd (Professor, Sophia University)**

I apologize for not writing before now. Both Paula and I wanted to express our deep thanks for the privilege of enjoying the new "Potomac Cherry" Noh play. We each found it to be a wonderful vehicle for showcasing the power of the traditional art, and in particular for its ability to convey a range of important human themes, from human dignity to international friendships.

**Jonathan T. Fried (Ambassador of Canada)**

I had a great pleasure to attend your play, which was performed with a very sensitive spirit, mixing in a very successful manner the essence of the Noh and modern history events. It seems to me that both your talent as a playwright's talent and the actors succeeded in capturing, while respecting the essence of the Noh, the spirit of the messages of peace carried by the main characters. Please convey my appreciation to the actors, and accept my compliment for this beautiful moment.

**Remi Lambert (Embassy of France)**

My husband and I really enjoyed the Potomac cherry blossom play. What especially impressed me was how you brought together the question of individual rights on the one hand and social harmony on the other. I really love Noh. The idea of a theatre of the dead really fascinates me. How different a world it would be if we actually listened to what the dead have to tell us. Having the translation really helps.

**Radhika Steinmetz. (Embassy of Luxembourg)**

Thank you for a most interesting Noh-evening. I think the play was a good combination of the genuine Noh tradition and a modern theme (100 years is not a long time). I was positively surprised by the interlude, especially when I started to recognize

familiar melodies of a different kind. The actors, the musicians and the choir were extremely good. Congratulations on a marvelous project!

**Lars Varg (Ambassador of Sweden)**

### 無記名アンケートより

- 平和への願い、百数十年前の出来事を描いているが、観阿弥、世阿弥のころもこういう感覚でみていたのかなと思った。間奏の笛の音色が気に入った。何の楽器かあとで調べようと思う。
- 日本人が協調性を重視するから、一斉に咲く・散る桜を好むのではないと思います。華やかさに美しさを感じるのと、入学式など始まりの日などの文化と結びついているからだと思います。
- すばらしかったです。華やかで幽玄でまだ夢をみている様です。花の季節にまことにふさわしい演じものの、感謝いたします。
- 舞台、衣装、とても美しかったです。内容もわかりやすく楽しむことができました。
- 上田先生は今回の演能に尽力いただいたと思いますが、解説は冗長でした。ない方がよかったですと思います。中入りの笛は極めてよし。
- 解説の最初が聞こえなかった。
- すばらしい能でした。ワシントンなど米国でもぜひ！ただ見所でスタッフが演能中にドアの開閉、打合せ声が聞こえ不快であった。
- 台本の文字が小さくて読めなかった。ページを繰る音がうるさかった。
- とてもとても素晴らしかった。
- 今回、梅若流は観世流の分派と聞きましたが・・・それで創作ができたのでしょうか。笛方が素晴らしかったです。初めての楽器に感激でした。（高橋）
- Stage decoration was beautiful.

### 【感想文寄稿者リスト】 五十音順

青木加実、麻生哲郎、足立禮子、荒井良雄、伊藤真紀、梅内康行、梅若聖子、大海人憲夫、大氣正江、大平健二、大山敦彦、岡本靖正、小野日子、門井昭夫、金井紀代子、川田基生、川地美子、菊地善太、木下恵美子、木下裕一、小出英美子、郡山直、今野秀洋、斎藤祐一、坂口英典、佐藤健治、杉澤陽子、Staguhn 由美子、瀬在幸安、平良廣一、多田稔、田中希、中村忠男、中原秀人、原不二子、日江井栄二郎、平井明余、平田宏、松葉悦子、松本雍、三上紀史、三戸幹夫、ミムラケイコ、宮西ナオ子、棟居禮子、村尚也、村松真一、毛利三彌、安田信、山口聖子、山崎有一郎、山田敦子、山本勝久、吉永洋子、Laura Winthrop Abbot, Mari Boyd, Jonathan T. Fried, Remi Lambert, Radhika Steinmetz, Lars Varg